活動推進NEWS No.4

消費税大増税STOP「意見広告」

このニュースは各県各界連・加盟団体にお送りしています。ご活用下さい。

●発行日2014年2月18日
●消費税廃止各界連
「意見広告」デスク
豊島区目白2-36-13(全商連内)
Tel:03-3987-4391
Fax:03-3988-0820

景気指標は回復せず・・・

「景気条項(附則18条)発動し、政府は中止決断を」の声広げよう

意見広告への賛同を訴えると「財源は大丈夫なの？」「中止は無理でしょう」などの疑問が出されます。カンパを集めながら、増税の道理のなさ、展望を語り広げる運動が展開されています。景気回復を多くの人が願っていることも特徴です。増税法附則第18条の景気条項で増税が中止できると知らせカにしましょう。

【滋賀】

12日に事務局会議を開き、全県的に大勢があちこちで声を上げている状況を作り、「増税をあきらめてはいけない」と激励し、増税中止の可能性を発信しようと話し合いました。16日には全県で自動車パレードを行い、８コースに78台。94人が参加して「増税中止」を元気に訴えました。

意見広告は、2月20日を締め切りに決め、ぞれの団体で創意工夫を凝らして進めています。新婦人では「私の言いたいひとことカード」を集めながらカンパを訴えています。民商では、春の班会でカンパ袋を回して協力を訴えています。

地元選出の国会議員への訪問は分担をきめ、また4月1日怒りの総行動として「早朝駅頭・びわ湖ネックレス宣伝」「地域各界連で宣伝カー運行」などの作戦も取り組む予定です。

【北海道】

札幌北部民商では、春の税金学習会で申告の注意点などを学びながら意見広告の取り組みをすす堰堤ます。チラシを見ながら「本当に中止できるのか」などの疑問にも答えるいい機会になっています。マスコミ各紙の世論調査でも7，8割が反対しているのに、どうしてマスコミは報道しないのか」「税率が限りなく引きあがるのでは」「ヨーロッパの轍をふむことに…」と議論が沸騰しています。

幌北支部では2月9日に開いた税金学習会で賛同を訴え、飲食業の方が多かったのですが、参加者のほぼ全員が賛同者に。「ホームページに名前、しっかり載せてくれ！」との声も出ていました。

＜第2弾＞

意見広告カンパに寄せられた声を紹介します

●払うべきものは払ってきた71才女性です。どうしてそんなに低所得者をいじめるの！（山梨・G）

●消費税が導入された時、「麻薬のような税金だ」と批判されたのを思い出します。（東京・N）

●弱い者への負担増反対、応能負担中心の民主的税制を！（静岡・K）

●文化的な生活が送れません。（香川・O）

●庶民に増税、大企業への減税のゆがんだ税制をゆるさない！（東京・I）

＊事務局より：2月末が近づいています。集まったカンパの送金をよろしくお願いします!!